

金沢港機能強化整備について

1. はじめに

近年のクルーズ船やコンテナ貨物の増加など、金沢港を取り巻く環境は大きく変貌している。こうした変化に対応するため、クルーズと貨物の両面から金沢港の機能強化を図るべく、「金沢港機能強化整備計画」を策定し、整備を進めた。

<金沢港機能強化整備計画>

- ①金沢港クルーズターミナルの整備
- ②アクセス道路、駐車場、緑地の整備、船だまりの埋立
- ③無量寺・戸水に点在するコンテナ上屋の移転・集約



金沢港機能強化整備計画

2. 金沢港機能強化整備の概要

1) 金沢港クルーズターミナルの整備

金沢港ではクルーズ船の寄港が急増したものの、乗船客のCIQや待ち合いは仮設テントで対応しており、手続き等で混雑していた。

このため、乗船客の利便性を大きく向上させるため、クルーズ船の2隻同時着岸時もスムーズにCIQや待ち合いを可能とすることに加え、観光案内やレストラン等の便利施設、さらには屋根付き展望デッキなどを備えた「金沢港クルーズターミナル」を整備した。クルーズターミナルは、鉄骨造りの地上3階建てで、港の眺望を十分に堪能できるよう、海側は全面ガラス張りとした。

また、1階のCIQ・待合エリアについては、クルーズオフシーズンなどクルーズ船の寄港がないときは、ジュニアスポーツや各種イベントなどに有効活用することとしている。



金沢港クルーズターミナル

2) アクセス道路、駐車場、緑地の整備、船だまりの埋立

金沢駅と金沢港を結ぶ幹線道路（通称50m道路）から港内へ直接進入できる道路を新設してアクセスを向上させるほか、乗船客や観光バス、一般利用者等の駐車場を十分確保した。

また、無量寺ふ頭と戸水ふ頭の間の水域を埋め立てて、両ふ頭を一体的に利用するほか、季節感あふれる緑地を設け、海の玄関口にふさわしい憩いの空間を創出した。

3) 無量寺・戸水に点在するコンテナ上屋の移転集約

コンテナ貨物が年々増加してきた金沢港では、コンテナ上屋が各ふ頭に点在しており、荷役作業が非効率な状況になっていた。

このため、点在していたコンテナ上屋を御供田国際コンテナターミナルに隣接した東部工業用地に移転集約することとし、新たに大型の「金沢港県営東部上屋」を整備した。

3. おわりに

金沢港をクルーズ・貨物の拠点に加え、賑わいの拠点とするため、クルーズターミナルに操船シミュレーターを備えた港に関する学習の場を設けている。また、港内のライトアップや年間を通じた様々なイベントを実施することにより、訪れる方々に楽しんでもらえるよう工夫を凝らしている。

金沢港では、開港以来の大改修が行われ、開港50周年を迎える今年、リニューアルを完了した。

石川県にお越しの際は、機能強化整備によって新しく生まれ変わった金沢港に是非お立ち寄りください。

石川県 土木部 港湾課 岡田 卓馬